

1. 健康保険組合を取り巻く状況

《保険給付費の増加と、高齢者医療への納付金が大きく保険料収入を大きく上回る伸びとなっており、R5年度は全国の健康保険組合の8割が赤字となる収支予算となっている。》

- (1) R5年度予算ベースで全国の1,093組合が赤字予算(対前年+130組合)、赤字総額▲5,623億円(対前年▲1,910億円)と過去最大の赤字額。
- (2) 保険料収入は対前年予算比+2.8%であるが、保険給付費は+5.5%、高齢者医療納付金は+7.3%と大幅に上回る見込み。特に団塊世代の後期高齢者入りの影響が顕著。(後期高齢者支援金は+9.9%)
- (3) 収支均衡に必要な財源を賄うための平均実質保険料率は9.27%となる見通しで、協会けんぽの保険料率(10.0%)以上の組合は309組合で引き続き微増傾向にある。

第1号議案 令和4年度「収入支出決算」 第2号議案 令和4年度「事業報告」

P2

2. 令和4年度基礎数値

	R4 実績	R3 実績	R4 予算	R5 予算
保険料率	9.3%	8.8%	9.3%	9.3%
(事業主)	(5.475%)	(5.225%)	(5.475%)	(5.475%)
(被保険者)	(3.825%)	(3.575%)	(3.825%)	(3.825%)
被保険者数(平均)	8,204人	8,065人	8,066人	8,190人
報酬月額/人(平均)	390千円	380千円	390千円	393千円
総標準賞与額(年間)	12,285百万円	11,969百万円	11,572百万円	12,120百万円
給付費	法定給付	2,108百万円	1,929百万円	2,052百万円
	付加給付	39百万円	38百万円	41百万円
	(被保険者一人当り)	(262千円)	(244千円)	(260千円)
納付金	前期高齢者	1,097百万円	1,267百万円	1,108百万円
	後期高齢者	1,025百万円	1,011百万円	977百万円
保健事業費	保健事業	67百万円	58百万円	83百万円
	保養所等	25百万円	22百万円	21百万円
(参考)				
加入者数 (被保険者+被扶養者)	16,207人	16,127人	16,077人	16,197人

《基礎数値》

昨年度は新型コロナ禍も落ち着き、経済活動が活発化し始めており当組合被保険者増加や総標準賞与額に反映している。

- ・保険料率 : 12年ぶりに9.3%へ+0.5ポイント引上げ。
- ・被保険者数: 毎年増加傾向。
- ・平均標準報酬月額: 微増(予算通り)
- ・総標準賞与額(年間): 微増。
- ・給付費: 新型コロナ関連で1.8億円対前年で増加。
- ・前期高齢者納付金: 予算通り微減。
- ・後期高齢者支援金: 予算通り微増。(R5は大幅増加)
- ・保健事業費: 昨年並みに推移。(昨年は事業主との分担見直)
- ・保養所等: 保養所、グラウンドの利用者数増加で費用増。
- ・加入者数: 被扶養者の減少が継続(扶養率は0.975と毎年減少)

本年度は人員抑制及び被保険者の収入の伸びの抑制が見込まれ保険料収入の伸び悩みが予想される。

第1号議案 令和4年度「収入支出決算」

第2号議案 令和4年度「事業報告」

3. 令和4年度決算(22.4.1～23.3.31):一般勘定

(単位:百万円)		R4年 実績	R3年 実績	前年 実績差	R4年 予算	予算差	R5年 予算
経常	保険料収入	4,621	4,212	+409	4,508	+113	4,636
	その他	8	14	△6	3	+5	10
	収入計	4,629	4,226	+403	4,511	+118	4,646
	給付費(医療費)	2,147	1,967	△180	2,093	△54	2,251
	高齢者納付金(国へ)	2,122	2,277	+155	2,144	+22	2,149
	保健事業費・他	198	99	△99	130	△68	189
	支出計	4,467	4,343	△124	4,367	△100	4,589
	経常収支計	162	△117	+279	144	+18	57
	経常外収支	114	108	+6	8	+106	5
	予備費	0	0		200	+200	200
収支計(実質)		276	△9	+285	△48	+324	△138
別途積立金取崩し		0	70		48		138
収支決算残金		276	61		0		0
(資産残高)							
資産 残 高	準備金残高	1,038	1,038	0	1,038	+0	1,038
	別途積立金残高	1,615	1,338	277	1,187	+428	1,477
	その他(土地・建物等)	72	86	△14	86	△14	72
	合計	2,725	2,462	263	1,817	+908	2,587

①経常収支は162百万円の黒字(7年ぶりの黒字)

- ・保険料率の引上げにより250百万円の増収効果となった。
- ・被保険者の増加により160百万円の増収。
- ・**新型コロナの治療費が対前年+180百万円**で影響し医療給付費(医療費)は**対前年+9.2%アップ**。
- ・高齢者医療納付金は令和2年度の精算で減少。
- ・R3年1月分から出向者人件費・事務所家賃を遡って事業主へ支払い対前年**+86百万円**。

②総収支は276百万円の黒字(対前年+285百万円)

- ・経常外収支では国の補助金収入及び体育館売却+13百万円もあり+114百万円の黒字となった。

③276百万円を残金処分として別途積立金へ繰入。(詳細は後述)

④資産残高は決算残金処分が寄与し対前年+263百万円の2,725百万円。

- ・(名)(泉)体育館売却、その他減価償却14百万円の資産減もあったが、総収支黒字による決算残金が総資産増加に寄与。

第1号議案 令和4年度「収入支出決算」 第2号議案 令和4年度「事業報告」

P4

3. 令和4年度決算(22.4.1～23.3.31): 介護勘定

(単位百万円)		R4年 実績	R3年 実績	R4年 予算	R5年 予算
保険料率		1.75%	1.75%	1.75%	1.75%
収入	介護保険収入	525.0	507.4	506.0	532.0
	その他収入	0.0	0.0	0.0	0.0
	計	525.0	507.4	506.0	532.0
支出	介護納付金	504.3	475.0	504.4	559.1
	その他支出	0.0	0.1	0.3	0.3
	計	504.3	475.1	504.7	559.4
収支		20.7	32.3	1.3	△27.4
予備費(△)		0.0	0.0	△5.0	△5.0
準備金取崩し		0.0	0.0	3.7	32.4
差引		20.7	32.3	0.0	0.0
準備金(介護)		105.2	84.6	70.9	72.8

<介護勘定>

【適用】

- ①2号被保険者(本人): 対前年101.5%の4,373名
- ②平均報酬月額(+2.7%)、総賞与額(+2.0%)とも対前年と比較して増加。
- ③被保険者一人当たり納付金額は保険料収入増加以上に大幅増加(対前年+18%)となった。

【収支】

- ①被保険者増加、平均報酬増額により保険料増収。
- ②令和2年度(21年)に実施した介護保険料率の引上げにより安定した運営により21百万円の収支黒字を計上。
- ③21百万円の処分金は全額準備金へ積立予定。

R5年度は国への納付金が重荷になり、一転赤字見込み。

<介護保険>

- ・40歳以上の国民は全員加入義務があり、「介護保険料」として国に納付。(健保が従業員分を代行して納付)
- ・国は要介護の人たちへの「介護費用」の一部へ充当。

・国の政策によって介護保険政策が変更されるので、今後の動向に要注意

第1号議案 令和4年度「収入支出決算」 第2号議案 令和4年度「事業報告」

P5

4. 令和4年度事業報告

＜保健事業の目的と概略＞

加入者の健康維持・増進を目的としており「健康指導」「健康維持増進」を促進するための費用。

将来の「医療費（保険給付金）」の削減を目指すために使用しており、積極的に削減対象とする費用ではなく効果的な使用を継続するもの。

＜令和4年度の実績＞

支出実績92.3百万円（対前年+12百万円 対予算▲35百万円）

（1）健診・保健指導 30.2百万円

特定健診：加入者の扶養者に対する特定健診

特定保健指導：メタボ対象者（予備群含む）に対する保健指導

（2）保健指導宣伝活動 11.6百万円

機関誌発行・医療費通知・ICT利用による各種健康イベント実施（ポイント付与を含むPepUpの活用）

（3）疾病予防活動 26.0百万円

加入者の定期健康診断の費用負担

会社での歯科検診実施

人間ドックへの費用補助（節目ドック、定年記念ドック、配偶者向）

がん検診への費用補助

（4）施設管理・運営 24.5百万円

保養所の管理運営

グラウンド、体育館の管理・運営

＜令和4年の振り返り＞

・重点的取組課題

①特定健診受診率向上（目標：被扶養者47%）

79.3%と前年から横ばい。被扶養者の受診率が34.1%と対前年1.6ポイント低下が影響。（受診勧奨減が要因か？）

②禁煙活動への取組強化

禁煙チャレンジを11月に募集：2コースで74名の応募。

③無料歯科検診の対象拡大

各地の駐在者、出向者も3年に一度近隣で受診できる取組開始。

＜令和5年の取組強化項目＞

・令和4年度の項目にがん検診補助充実を追加。

・事業主との協業のコラボヘルスの推進。

①特定健診受診率向上（目標：81%）

被保険者への広報活動の実施。受診勧奨年2回へ。

②禁煙活動への取組強化（被扶養者まで対象拡大）

禁煙推進委員会との協業と禁煙チャレンジの取組充実

③がん検診補助の拡大（新規）

市町村実施の胃がん検診補助開始（従来の大腸、乳、子宮、前立腺に加え新たに対象へ）

令和5年度 保健事業費予算

121百万円（対前年実績+29M）

第3号議案 令和4年度「決算残金処分」の件

第4号議案 令和4年度「財産目録」の件

令和4年度残金処分(案)

<一般勘定>

収支決算残金処分 **276,824,836円**

上記決算残金を、次の通り処分する。

法定準備金	0円
別途積立金	276,622,205円
繰越金	0円
財政調整事業繰越金	202,631円

<介護勘定>

収支決算残金処分 **20,656,470円**

上記決算残金を、次の通り処分する。

法定準備金	20,656,470円
繰越金	0円

令和4年度財産目録

<一般勘定>

(単位: 百万円)

	R4年度	R3年度	差 異
(土地・建物)	(462)	(462)	0
(定期預金)	(551)	(551)	0
(他)	(25)	(25)	0
法定準備金	1,038	1,038	0
(定期預金)	(1,615)	(1,338)	+277
(他)	(0)	(0)	0
別途積立金	1,615	1,338	+277
(土地)	(49)	(49)	0
(建物)	(14)	(26)	△12
(什器・他)	(9)	(11)	△2
その他	72	86	△14
合 計	2,725	2,462	+263

*名古屋工場体育館、泉大津工場体育館の処分(事業主への売却)を実施

<介護勘定>

法定準備金	105	85	+20
(普通預金)	(105)	(85)	+20